



第4学年だより

令和元年7月23日 No.6
杉並区立杉並和泉学園小学部
学園長 田中 稔
4年担任 三浦 哲
武井 聡子
田中 優一
大西 清加
副担任 澤本 剛知

確かな学力を育む取組

いよいよ夏休みが始まりました。時間のある夏休みだからこそ、これまでの学びを振り返り新たな成長につなげる絶好の機会としてほしいと思います。自由研究や読書など、興味をもったことをどんどん追究していくとともに、これまでの学習内容のつまずきを減らすことで、よりよい二学期のスタートを迎えられるようにしてほしいと思います。学年としても二学期以降は5月に実施した「杉並区特定の課題に対する調査」の結果を踏まえながら、さらなる改善に取り組んでいく予定です。今後、より一層一人一人に確かな学力を定着させることができるように、保護者の皆様と今まで以上に連携を図りながら、教育活動を進めていきたいと考えています。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

《学園における学力向上の取組》

- ・校内研究を通して、「思考力・判断力・表現力等」の向上を目指しています。一人一人がじっくりと考える時間を確保するために「個で思考する」→「話し合い、ICT活用を通して思考を共有する」→「自分の考えを問い直す」流れを大切に授業づくりを行っています。
- ・小学部と中学部の教員が話し合い、9年間のつながりのある学習を展開しています。今までに学んだことを生かし、さらに知識・技能を身に付けることができるようにしています。

《地域と協力した学力向上の取組》

- ・放課後学習（小学部木曜日、中学部水曜日）、夏のパワーアップ教室では、学校支援本部と協力して個別学習の充実を図っています。学園が開校してから5年目の取組となり、着実に成果が表れています。
- ・思考力を高める「わくわく算数レストラン」、知識・技能の定着を確認する「漢字・英語検定」を定期的に行っています。
- ・土曜日に学校支援本部が「手習い塾」を開催しています。小学部・中学部の児童が集中して自分の課題に取り組んでいます。さらに、多くの児童生徒に参加してほしいと思います。

《4年生における学力向上の取組》

- ・指導内容、指導方法の共有
→国語（武井）、社会（三浦）、算数（出倉）、理科（田中）、道徳（大西）に関して、教員の専門性を生かしてそれぞれが教材研究・資料準備を行い、学年全体で共有してより質の高い授業を目指します。
- ・「漢字50問テスト」「47都道府県名テスト」学習計画表の実施
→中学部のように学習計画を立て、自ら学習に取り組む習慣を身に付けることができるようにします。

4年 授業改善プラン

国語科

- ・聞かれている事柄を文章から正しく書き抜く力
- ・文章全体を正しく読む力
- ・学んだ事を自分の経験と結び付けて書く力
- ・既習の漢字を書く力

などに課題が見られます。



授業改善のポイント

- ・文章を正しく読む力を高めます。
→中心文の中から、接続詞やキーワードとなる言葉を取り上げながら文を読むようにします。
- 音読をする時間を取り入れて、語と語、文と文のつながりを考えて読めるようにします。
- ・自分の考えがもてるようにします。
→物語や説明文を読み、感想を書く時間や伝え合う時間を多く取り入れていきます。
- ・辞書による意味調べを通して言葉を正しく理解できるようにします。
→繰り返し漢字の学習ができるようにプリント学習をしていきます。

社会科

- ・「東西南北の方位」「杉並区の位置」「都道府県」の位置などの地理に関する知識の定着を確実にする必要があります。
- ・複数の資料の読み取りに課題があります。



授業改善のポイント

- ・確実な知識の定着を図ります。
→授業の中で地図帳を使用し、「方位」や「市区町村や都道府県」の位置や名称の確認を行います。
- ・複数の資料を正しく読む力を高めます。
→まずは、1つの資料に絞って読み取り方を丁寧に確認していきます。確実に読み取れるようになってきたら、複数の資料の関連性を探したり、比較したりする見方を学習していきます。

算数

- ・「4位数－4位数の筆算」「3位数×2位数の筆算」など計算処理が多少複雑になる問題や、「図形の性質を活用して考えること」を問われる問題の定着が必要とされます。

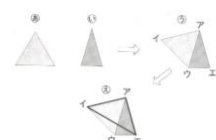
例

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad 7084 \\ - 1476 \\ \hline \end{array} \quad \textcircled{2} \quad \begin{array}{r} 578 \\ \times 31 \\ \hline \end{array}$$

- (3) 下の図のように、正三角形②と二等辺三角形③があります。この2つの形を合わせると、④の図のように、1つの辺がぴったり重なりました。

このとき、④の形のようにア、イ、エの頂点を直線でつないだ形は、何という三角形ですか。

また、その三角形と言えるわけを説明しましょう。



授業改善のポイント

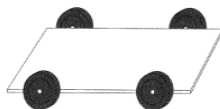
- ・確実な計算力の定着を図ります。
→復習の範囲を広げ、既習内容に立ち返る場面を設定します。四則計算の筆算練習を繰り返し行っていくします。
- ・学んだこと（図形の性質等）を活用して考え、説明する力を高めます。
→具体物とICTを有効に活用して、図形の性質をより深く理解できるようにします。また、学んだことを使って考える学習課題を設定し、ノートに考えを書く時間を十分に確保します。友達と考えを説明し合う活動を多く取り入れ、学び合いの中で、考え表現する力を身に付けられるようにします。

理科

・「ものには、電気を通すものと通さないもの、磁石に引き付けられるものと引き付けられないものがあること」、「ゴムの力は、ものを動かすことができること」、「ものを動かすには色々な力を活用することができること」についての問題の定着が必要とされます。

例

② ひろしさんはゴムいかりの力で動くおもちゃを作ることにしました。どのようなほうほうを使った動く車が考えられますか。図の車に使うものなどの絵と文をかきわえて、動くしくみをせつめいしましょう。なお、動くしくみは、人がちょくせつ車をおしたり、坂道においたりすることではないものにしましょう。



授業改善のポイント

- ・学んだことを説明する力を高めます。
→実験結果のまとめ、結果から分かったこと、疑問に思ったこと等、考察し「表現する時間」を確保します。また、書く内容を掲示することで視点を明確にします。そして、考えを伝え合う「対話する時間」を十分に確保します。
- ・確実な知識の定着を図ります。
→知識の定着を確認する時間を設けたり、学習課題につながる既習事項を確認したりします。



4年生の家庭学習

宿題

＜月～金＞

- ・漢字らくらくノート
- ・計算らくらくノート
- ・音読

※算数のテスト前にプリントや「かだめし」が出ることがあります。



自主学習ノート

- 授業で学習したことの復習
- 自分の課題（苦手なところ）を克服するための学習
- 興味・関心があることを追究する自主的な学習

＜家庭学習時間のめやす＞
50分（10分×学年＋10分）

家庭でこんな学習してみよう（自主学習ノートの取組例）

○知識・技能の定着を図る取組 ●思考力等を育む発展的な取組

国語

- 国語辞典を使って、漢字の単語、慣用句等の意味を調べる。
- 新出漢字や前年度までに学習した漢字で文章を作る。
- 50問漢字テストに向けての漢字練習をする。
- 読書・新聞
 - ことわざや慣用句の意味調べをした後におうちの方に分かりやすく説明したり短い文章でノートに書き表したりする。
 - 読書した本や新聞の記事から、感想や意見を短い言葉で書く。

算数

- 教科書・ノートを見ながら授業内容を復習する。
例えば・・・
 - ・計算練習
わり算の筆算（1）（2）、小数のたし算・ひき算
3年生で学習したたし算、ひき算、かけ算の筆算
 - ・がい数、がい数を使った計算
- 文章問題を解くときに、自分で数直線、図、式、言葉等を使って考え方を書きおうちの方に説明する。
- 発展問題に取り組む。

理科

- 教科書・ノートを振り返りながら学習内容を復習する。
- 授業を受けていて、疑問に思ったことや、さらに調べたいことを実験したり調べたりする。また、家庭でもできるもの作りも考える。(3、4年で学習したのを発展させる。)
- 学習したことを活用する発展問題に取り組み、自分の言葉で説明する。

社会

- 教科書・ノートを見ながら授業内容を復習する。
- 地図帳に親しむ。(各県の名産品・名所・歴史的建造物について調べ、まとめる。出かけた後に地図帳を開いて、どこに行ったのかを確認する。目に付く所に地図を貼って見るなど。)
- 47都道府県名テストに向けて、地図帳だけではなく漢字ドリルも用いて繰り返し練習を行う。
- 授業を受けていて、疑問に思ったこと、さらに調べたいことを調べたり、実際に見たり試してみたりする。

ご家庭で協力していただきたいこと

子育て四訓に「少年は手を放して 目を放すな」という言葉があるように、児童が「一人にして」という時期ではありますが、親に「こっちを向いてほしい」というメッセージはいつも発信しています。子供の良いところや頑張りをたくさん見付け、褒めてあげましょう。4年生とはいえ、まだまだ自分のことを自分で管理するのは難しいものです。子供の学習の様子を定期的に見たり、話題にしたりしていただけたらと思います。

音読…正しく読めているか聞いてあげてください。読んだ後に、内容や言葉の意味を理解しているか質問をしてあげてください。

らくらくノート、プリントなど…終わったら内容を確認し、褒めてあげてください。「漢字を丁寧に書けたね。」「計算ミスなく解けたね。」「おいしい！次こそ全問正解できるよ。」など次につながるプラスの声かけが良いですね。ノートに「確認のサイン」をすることもおすすめします。また、計算ドリルなど、保護者の方に丸付けをお願いします。もしくは、児童が丸付けしたものに必ず目を通してください。

地図帳…スポーツ番組やニュースで海外の国々の名前や国内の地名が出て気になった時に、地図帳を開き、場所を確認する習慣を付けましょう。

学習環境…「決まった場所」で「一定の時間」を「集中」できるような学習環境を整えましょう。「テレビを見ながら」「お菓子を食べながら」など、「～ながら」の学習は控えましょう。

☆子供の実態に応じて、「できていないところを補う」「さらに力を伸ばす」等、自主学習ノートの内容を前のページの取組例を参考にお子様にアドバイスをしていただけたらと思います。学校でも学習内容や一人一人の習得状況によって、内容を提案していくようにします。

☆家庭学習について困ったことや分からないことがありましたら、遠慮なくご相談ください。個々に合った学習内容や取り組み方について一緒に考えながら子供のすすんで学ぶ力を育てたいと思います。